

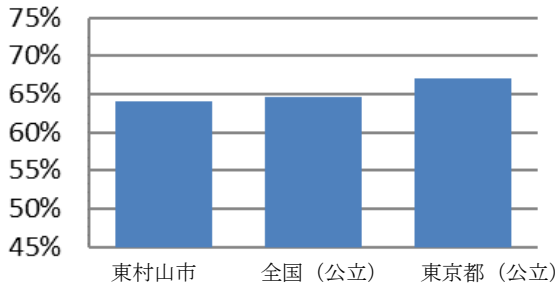
令和3年度全国学力・学習状況調査

調査結果から（中学校）

令和3年9月 東村山市教育委員会 指導課

【国語】

＜平均正答率＞



＜課題点＞

「書くこと」では、「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること」に課題が見られた。

また、「読むこと」では、「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと」に課題が見られた。

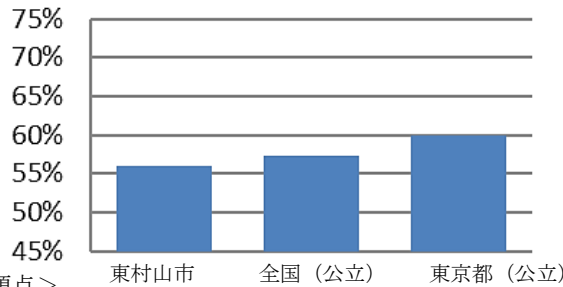
＜手だて＞

「書くこと」では、書いた文章を互いに読み合い、自分の表現に役立てるとともに、自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り入れることが重要である。その際、生徒が根拠の明確さ、文章の構成や表現の仕方など、観点を明確にして交流することを通して、書き手の意図やその効果について考えることができるよう、教師の働き掛けを工夫することが大切である。

「読むこと」では、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるように、文脈の語句の意味を理解したり、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解したりする活動を取り入れることが重要である。また、読書活動を通して、幅広く文学作品に目を向け、新たにものの見方や考え方を発見したり、様々な視点から物事について考えたりできる活動を設定することが大切である。

【数学】

＜平均正答率＞



＜課題点＞

「図形」では、「ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること」に課題が見られた。また、「関数」では、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」に課題が見られた。

＜手だて＞

「図形」では、性質を考察する場面において具体物を用いた活動を通して、予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えることや一定の条件の下でも成り立つ事柄を見出すことが重要である。その際、平行線や角の性質をもとに図形の性質を確かめながら考えたことをまとめる活動を取り入れることが大切である。

「関数」では、実生活と結び付けながら具体的な、2つの数量の関係を捉える場面を設定することや、捉えた関係を根拠として事柄が成り立つ理由を説明する活動を取り入れることが重要である。その際、生徒が表やグラフ、式などを活用しながら数学的に処理する中で、問題を焦点化し、考えを交流する活動を取り入れることが大切である。

全体的な傾向として

国語、数学ともに東京都及び全国の平均値を下回った。国語では、「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ問題で無回答が多かった。文章を読んで理解したり考えたりしたことを知識や経験と結び付けるとともに、多様な考えに触れることで、自分の考えと対比することができる活動を取り入れることが重要である。数学では、「資料の活用」において、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題で無回答が多かった。日常生活に関わる問題を設定するとともに、自分が判断した事柄とその根拠を、データの分布の特徴を捉えて説明したり、代表値を用いて説明したりする活動を設定することが大切である。

＜生活習慣や学習状況等に関すること＞

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問に肯定的に回答した生徒の割合は、74.4%であり、東京都の回答とほぼ同じ割合であった。この質問に肯定的に回答した生徒は、教科に関する平均正答率が高い傾向にある。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と肯定的に回答した生徒は平均正答率が高い傾向にある。東村山市では、この質問に対して肯定的に答えた生徒の割合は66.7%であり、東京都の平均より5.9ポイント低い傾向にあった。
 - ・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して、1時間より短い場合、平均正答率の低下が顕著になる傾向がある。本市においては、1日あたりの学習時間が1時間未満の割合は26.5%であり、東京都の値より5.3ポイント高くなっている。
 - ・「普段、1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）時間が1時間以上」と回答した生徒の割合は、全体の84.5%を占めており、「1時間より少ない」と回答した生徒に比べ、教科に関する調査の平均正答率が低い傾向にある。
- 友達との意見交流をし、多様な考えに触れることの大切さを時間することができるよう、ICTを活用することでより効果的・効率的な学習方法を工夫するなどして、協働的な学習の充実を図ることが大切である。学習時間に関しては、単に勉強時間を増やすということだけでなく、SNS利用に関するルールを家庭とともに考え、利用時間を制限することや定期考査に向けた学習計画を生徒一人一人が自ら立てることなどを通して、家庭学習の効果を高めていくことができるようにすることが大切である。